

21年産

今までと違った視点で田んぼを観察しよう

田んぼの生き物が米を語る

米の品質の低下は農薬・化学肥料で効率化を求めた結果か

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)



県内各地で「ユキワリソウ」の展示会が開催され、我が家の庭続きの雑木林の斜面でもオウレンの白い花が一面に咲き、カンアオイやヤブ椿の花が開いて春の息吹が感じられるようになりました。気象庁から暖冬だったことが発表されましたし、桜の開花も早まりそうです。

雪国でありながら雪の苦労も無くて春を迎えられることは嬉しくもあり、反面なんとなく物足りなさを感じています。人間はなんとも我がままです。

それに比べて日本の政界はなんともお寒い状態です。政府与党が国民の期待にこたえられずに右往左往して内閣の支持率が10%台に落ち込んでいくところに、世論調査では次期総理候補に目されていた野党第一党の党首の公設秘書が、こともあろうに逮捕されてしまうという思わぬ事態がおきてしまいました。総理の専権事項である国会の解散・総選挙が何時おこなわれるか

予測もできませんが、残念ながら政治に対する不信感が一層広がってしまったのは確かです。しかし、こんな時こそ選挙の際には、それぞれ政党の政策と候補者の資質をしつかりと見極めて貴重な一票を行使すべきでしょう。政治の墮落の原因は、私たち国民にもあるのですから。

民間稲作研究所認証センターによる「認定講習会」が2月15日にウエルサンピア新潟で開催されましたが、前日14日午後から新潟県有機稲作ねつとわあく主催で農と自然の研究所・代表理事、宇根豊氏の講演会があり、前泊で参加しました。

宇根さんの講演をお聞きするのは3回目になりますし、以前に購入していた宇根さんの著書「天地有情の農学」にも目を通していたのですが、世上で「宇根哲学」と言われているように何回お聞きしても自然環境や生き物に対する宇根さんの目線と心情の奥深さに感動させられてしまいます。

宿泊で、たまたま宇根さんと同室が割り当てられました。講演会が終わって部屋に帰られた宇根さんの第一声が「トンボの写真を展示された内山さんですよ」というものでした。長津代

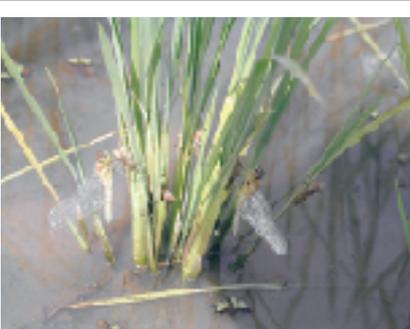
表から「出品販売や展示するもの、何でも良いから持参するように」といわれ、昨年の6月の我が家の有機水田のトンボの羽化写真を会場に掲示してあったのです。「一株にあんなに多くのヤゴが登って羽化するはずがない。他から持ってきたくつつけたのではないかと考えた」とのことでした。宇根さんのこれまでの調査では10a当り6千羽が最高だったそうです。我が家の有機水田では少なくともその数倍のトンボが羽化していることになりました。「ヤラセではない」ことをご理解いただき、その後はトンボからイトミミズによる抑草の話まで貴重な意見交換をさせていただきました。また、私はパナソニックのDMCL-Iというマニーツクなデジタル一眼レフを使っていますが、「レンズはライカですね。接写レンズも買ってどんどん記録して下さい。」と、接写レンズを買うか否かを迷っていた私の心を見透かされてしまいました。

当日は、写真の他に我が家の有機栽培コシヒカリと「自然農法」(不耕起・無施肥・無農薬)で栽培したものをそれぞれカルトン(米検査で使用する見取り皿)で展示



しました。「自然農法」の米は私自身も関わっている某体験農場のものをお借りしたのですが、米を見ることを職業にしてきた私自身でさえ過去に覚えがないほど粒の大きさが、厚み、揃いが良く、乳心白等の未熟も見当たらず、グレーダーにかけていないにも関わらず、クズもほとんどないというものでした。収量は3aで1俵程度でしたからお世辞にも多いと言わけてはありませんが、品質の良さには注目すべきものがあります。

かつては米の等級は5等級制でしたが当時は整粒80%以上の2等米が立派に存在していました。現在の1等は整粒歩合だけで見れば5等級時代の3等、整粒歩合が70%以上あれば良いことになりました。ところが、残念ながら近年では整



粒80%はおろか70%台ぎりぎりのものがほとんどであるといっても過言ではありません。1等と2等の境目のものが多くて検査も難しいということですが、一見整粒のように見えるのですが、良く見ると粒が変形していたり、捻じれていたり、厚みがなかったり、基部や背部が粉状化するなど、いわゆる「その他未熟」の混入が多くて2等に格下げされてしまうものもあるのです。登熟の途中で何らかの障害にあつてしまったのが原因でしょうが、これが克服されれば、品質が向上し、千粒重も増して増収にも結びつくのでしょうか。「自然農法」の米にはそうした現象がまったく見られないのですから、原因究明のカギが隠されているかもしれないと期待しているところです。(内山常蔵記)

